 先月の活動（5月）

日本語教室 5/9, 16, 23, 30 (4回)  
 5/7 (木) KIFA 広報部会 (恩地)  
 5/23 (土) BNN 事務局会議 (恩地、田中、福井)  
 5/29 (金) くさつラウンドテーブル (内田栄)


 参加人数(5月)

	5/9	5/16	5/23	5/30
学習者	7	19	10	15
スタッフ	14	20	18	18

 お知らせ

滋賀県ミシガン州友好親善使節団  
 団員募集

【派遣期間】  
 11月12日(木)～19日(木)8日間  
 うち、ホームステイ(house)(4泊5日)  
 【募集定員】  
 40名(※定員を超えた場合は、過去の使節団参加回数等をふまえて決定)  
 【経費】  
 約500,000円(税込・予定)  
 【応募期間】  
 6月1日(月)～7月15日(水)  
 【お申込み】  
<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys-alias/24thGWM-entry>  
 【派遣後】  
 経験された姉妹都市交流やホームステイ等について報告書原稿(open book)を作成いただきます。【問合せ先】  
 滋賀県総合企画部国際課  
 TEL: 077-528-3060  
 メール: [kokusai@pref.shiga.lg.jp](mailto:kokusai@pref.shiga.lg.jp)  
 公益財団法人滋賀県国際協会  
 TEL: 077-526-0931  
 メール: [staff00@s-i-a.or.jp](mailto:staff00@s-i-a.or.jp)

 今月の活動（6月）

日本語教室 6/6(M), 20, 27 (3回)  
 6/15(月)新旭電子工業訪問 BNN 業務 (恩地)  
 6/26(金)コミュニティ事業団評議委員会 (恩地)

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ( )内は参加者、または参加予定者。敬称略

 会員の動き(5月)



〈入会〉小山 智遠

「小学生のときオリーブに参加していました。人と交流するのが大好き！また、みんなよろしく」

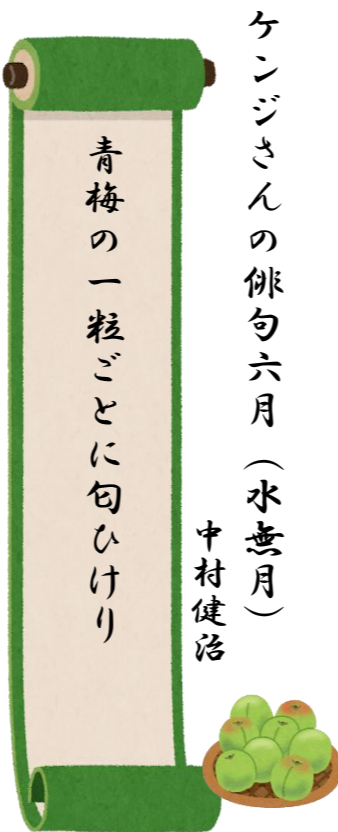
〈休会〉なし 〈退会〉なし 〈賛助会員〉なし

「生活者としての外国人」に対する日本語教師【初任】研修《ZOOM配信》(文部科学省委託事業)のご案内

- 期間：2026年8月22日(土)～2027年1月23日(土)全18回
- 時間：9:30～12:45  
 ※8月22日(土)は 10:00～12:00
- 研修費：20,000円
- 対象：
  - ・登録日本語教員の方
  - ・日本語教師養成講座420時間受講中または修了された方
  - ・日本語教育能力検定試験合格者の方
  - ・日本語教師経験0～3年程度の方

■詳細・お申し込み：  
<https://2026seikatsusha.peatix.com>

■お問い合わせ：  
 インターカルト日本語教員養成研究所(担当：谷口)  
 Email: [yosei@incul.com](mailto:yosei@incul.com)



編集後記：  
 6月はサッカーワールドカップで盛り上がっています。これも意味、国と国との戦いです。戦いはスポーツの上でだけにしてほしいものです。(MO)



# オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

2026年  
 6月号  
 2024.6.27発行  
 第290号


あたらしい仲間を紹介します。



アンギ サプトラ  
 インドネシア



マキヤマ エンゾ  
 ブラジル



元京都外国語大学教授 中川良雄

## 中川先生のへんてこ日本語


### 舌を出す

大相撲の実況中継をラジオで聴いていた。モンゴル出身の力士が強敵を破り、土俵で「舌を出しています」とアナウンサーが伝えていた。アナウンサーには、わざわざ取り立てるくらいだから、珍しく異様な行為だと目に映ったのだろう。その力士が何を意味して舌を出したのかは分からないが、「舌を出す」のは、相手をばかにしたり、恥ずかしい思いをした時である。日本ではあまり好ましい行為だとは思われないが、欧米人は、舌を出したり、口をとがらせたりして、感情を露わに表現する。

かつて同じくモンゴル出身の横綱が優勝インタビューで万歳三唱をして、協会から嚴重注意を受けたことがある。

モンゴル出身の力士は、みんな日本語の習得が驚くほど速い。いかにモンゴル語と日本語が同じ膠着語(助詞を持つ言語)に属し、よく似た文法構造を有しているとはいえ、その習得のノウハウは、日本語教育でも借りたいくらいである。きつと親方の指示が通らなければ、相撲がとれないところに大きな動機づけがあるのだろう。

しかし日本語を身に付け、相撲道を極めたとはいえ、マナーやタブー、精神文化を身に付けるのは、そう容易ではないらしい。そこまで身に付けてくれると、さらに日本語がうまくなることはもちろん、所作までも美しくなるのではないか。もはや手も足も出なくなってしまう。



188

# 2026 年度総会&懇親会

2026年5月31日、キラリエ草津にてオリーブ総会が行われました。

今年度の活動計画として、日本語教室 44 回のほかに、春のパーティ(4/4 実施済)スピーチ発表会(8/29)、バス遠足(11/15)、新年会(1/24)が承認されました。スタッフは、3つに分かれてそれぞれの活動の企画立案を担当することになっています。

また、今年度オリーブは、KIFA 日本語ひろばと共に、びわこ日本語ネットワークの事務局を担っています。こちらのほうでも事業を行いますので、皆さんの協力をお願いします。

総会後は、de 愛ひろばのレストランに場所を移して懇親会を行いました。日頃の活動では日本語を教えてあたふたと帰っていただけなので、こういう時にスタッフ同士の交流が持てるのはいいですね。(恩地)



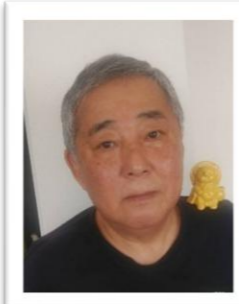
## 2026 年度スタッフ紹介



恩地美和 代表  
KIFA・BNN・FACEBOOK・  
オリーブ通信・部屋予約



豊村信良 会長  
ブログ・オリーブ通信



内田幸夫 副会長・  
会計監査



デイン チャン  
入会・庶務



杉山仁 会計



小春京子 会計・  
入会・FACEBO/  
出席簿作成



田中英子  
庶務・BNN



八田真実 庶務



堂腰清美 庶務



杉山美子 会計  
監査



西垣紀子  
オリーブ通信



伊吹知江子 入会



寺井 一二三 受付

## わたしの地元 #7



### 私の故郷・・・すめばみやこ・・・

田中三千彦



オリーブ通信の編集員さんから「私の故郷」について一言書くように依頼されてハタと困った。辞書には「故郷とは生まれ育った土地」とあるが、問題は「育った」のほうで、私の場合生まれたのは東京都杉並区であるが、父親の仕事の関係で、2歳の時、中国長春市(当時は旧満洲国新京市)に渡り日本に帰国したのは昭和20年、小学校入学直前であった。入学後間もなく東京空襲が始まり、母方の遠い親戚を頼りに栃木県の田舎に疎開し、夏休みが始まって間もなく日本はアメリカを中心とした連合軍に無条件降伏して第2次世界大戦は終了し、我が家族も東京に帰った。その後も「移動癖」は治らず、小学校卒業と同時に今度は神戸に引っ越し、中学、高校は神戸で卒業し、次は父親の転勤でなく、初めて自分の意思で京都で修士課程まで6年を過ごしました。

この様に色々なところで育ったので「どこが故郷か？」などと考えたことはありません。ただ、新しい土地に引っ越したら、「良いところに引っこしてきた」と自分に言い聞かせてその土地のよいところをさがすのです。そうすると「住めばみやこ」の格言通りになるのでいままで住んできた町はすべて「私の故郷」なのです。



中溝由香 受付



福井えり  
オリーブ通信・BNN



内田栄美  
ML・ボランティア保険



林美樹 入会



片山健 メール管理



写真はありますが、  
受付にはグエン・ヴァン・ハーさんがいます。  
みなさん、1年間よろしくお願いします。

